

第41回兵庫県少年サッカー大会

11月15日(土)～16日(日)

明石海浜公園グラウンド

4年生以下の部

兵庫FC 3 - 1 大庄SC 1回戦
兵庫FC 1 - 0 三樹平田SC 2回戦
兵庫FC 2 - 0 高倉台SC 準決勝
兵庫FC 4 - 0 FCリベリオン 決勝

6年以下の部

兵庫FC 3 - 1 洲本FC
兵庫FC 3 - 1 江井ヶ島イレブン
兵庫FC 1 - 1 ヴィッセル神戸
兵庫FC 1 - 0 柏原キッズFC
(ヴィッセル神戸戦は、PK 5 - 4)

4年生 2年連続 **5度目の優勝**

6年ぶり **4度目の優勝**

大会を振り返って

6年生 昨年末の東播トレセンでの怪我から、長い間、本来の力を出し切れなかった永峰君がこの大会で復活した。試合に出場できない期間、苦しかっただろう。それでも、努力を続けてきた成果が、この大会での活躍につながった。ヴィッセル神戸戦でのゴールは、人生を変えるきっかけになるのではないだろうか。

4年生の県大会3位・5年生の県大会は準優勝。全日本予選は不本意な結果だったが、6年生秋の県大会優勝は、6年生の子どもたちのたゆまぬ努力の結果だと思う。これからのサッカー人生に、大きな自信になることだろう。Jリーグ下部組織へ内定している5名の選手、そして他のチームへ移る選手、兵庫FC Jrユースで続ける選手。それぞれの道でガンバってほしい。

12月に行われる関西大会は、20名登録。6年生全員で最後の大会を戦えることが嬉しい。

4年生 良くここまで成長してくれた。保護者からは、「このチームで県大会に行けるでしょうか。」
「県大会、優勝できますか。」と聞かれることもあった。

「勝たせますよ。」と強がっていたのだが、内心は不安で一杯。

7月末の大会で、バディーとの決勝戦を見て、「今年も、いけるだろう。」という自身がわいてきた。

それ以後はどこのチームと試合をしても、「ドリブルでは絶対に負けない。」内容。県大会でもこのドリブルが、相手チームを苦しめた。

試合では勝ったが、4年生は、オフザピッチでの幼稚さが目立つ。忘れ物の多さは、過去のボーイズの選手の比ではない。人間的な成長を促す必要性を痛感している。

浜田君がこの大会終了後、関東に引っ越す。最後の大会を共に戦い、優勝という思い出をプレゼントできたことが何より嬉しい。「優勝トロフィーは浜田君に！」子どもたちの優しさが嬉しかった。

元気でサッカーを続けてほしい。

土のグラウンドと悪天候、兵庫FCにとっては、良くない条件の中での戦いを心配していたが、明石協会の指導者による、グラウンドコンディションの維持が、大きな味方になった。本当にありがたかった。運営の方々に感謝したい。